

平成 23 年度第 2 回

東御市地球温暖化対策地域推進協議会議事要旨

H24.3.23(金)14:30～16:50

中央公民館第 2 学習室

【出席者】

(委員:敬称略)

佐藤 哲、宮原 則子、大平 重利、長谷川 一敏、山口 吉久、高藤 圭一、関 幸枝、
森 まり子、新田 詔三、中澤 亥三、萩原 猛、工藤 浩平

[欠席:石川 昭隆、長谷川 岳大、関 正喜、]

(事務局)

柄澤市民生活部長、土屋市民課長、坂井生活環境係長、大塚生活環境係主査

【配布資料】

- ・東御市地球温暖化対策地域推進協議会会議次第
- ・東御市地球温暖化対策地域推進協議会委員名簿
- ・資料 1-1 東御市地球温暖化対策地域推進計画 課別推進施策総括表
(平成 23 年度末の達成状況)
- ・資料 1-2 東御市地球温暖化対策地域推進計画 課別推進施策総括表
(平成 24 年度末の達成見通し)
- ・資料 2 温室効果ガス削減量 2012 年短期目標達成状況(添付:試算資料)

【議 事】

１．開 会

２．佐藤会長、柄澤部長あいさつ

３．会議事項

(1) 市役所推進施策進捗状況について

事務局説明

説明資料 「資料 1 - 1 課別推進施策総括表（平成 23 年度末の達成状況）」

「資料 1 - 2 課別推進施策総括表（平成 24 年度末の達成見通し）」

(2) 東御市地球温暖化対策地域推進計画の進捗状況について

・短期目標（2012 年）の進捗状況について

・平成 24 年度（2012 年度）以降の計画進行について

事務局説明

説明資料 「資料 2 温室効果ガス削減量 2012 年短期目標達成状況」

(3) 意見交換

４．その他

５．閉会

【内 容】

(1) 市役所推進施策進捗状況について

新田委員

地中熱エネルギーの利用促進について、導入を見送ることとしていますが、地中熱のポテンシャルは大きいと思うがどのような経緯でそうなったのか。

事務局

現在は、助産所とうみで利用をしています。公共施設への導入に向けては、中央公民館の改築計画の一環としていましたが、建物の規模などを含めて検討しましたが、最終的には費用対効果が見合わないという結論から見送りとなりました。

佐藤会長

この地中熱利用については、地中熱の夏は涼しく、冬は暖かい特徴を利用して建物の保冷や保温効果を期待するものです。中央公民館などの大きな施設への導入は厳しいとしても、一般家庭への利用促進といった形で方向転換をしていただき、また、チャンスがあれば公共施設への導入を期待したいと思います。

荻原委員

家庭用の太陽光発電システムが順調に普及しているようですが、契約や工事に伴うトラブルも増えていると聞きます。普及と同時にこうした注意喚起も必要だと思います。

新田委員

廃食用油のバイオディーゼル化について、どのようになっているか。回収量が少ないとあるが、回収場所を増やすなどの工夫もできるはずである。

荻原委員

食用油のバイオディーゼル 10℃以下の低温下では、出力が安定しないことが分かってきました。

事務局

廃食用油の再利用については、二通りの考えで検討を行ってきました。ひとつは、計画のとおりディーゼルエンジンへの燃料とする方法ですが、燃料として精製した廃油を使用するためには、旧式のエンジンが必要となります。新型エンジンでは故障の原因となると言われています。よって導入には踏み切れないという判断となっています。次に、前回会議で提案しました東部クリーンセンターで焼却用の助燃剤として使用する方法ですが、高精度の混入物除去や精製を行う必要が判明しました。かつ、故障の可能性が否定できないとのこと。また、噴霧器の新設が必要となり費用対効果と施設保護の観点から計画を見送りとしました。回収されたものは、ペンキの溶剤としてリサイクルしておりますので、当面の間は現状で継続していきたいと思います。

回収については、市役所庁舎や中央公民館、各地区公民館で行っています。回収先や箇所については検討していきたいと思いますが、一般廃棄物と産業廃棄物の取り扱いや運搬なども考慮していく必要があります。

森委員

この取り組みがあまり知られていないのではないのでしょうか。回収場所を増やすことと合わせて広報などしたらどうでしょう。

佐藤会長

前回会議で聞いた助燃剤での使用は、大変期待していたのですが残念です。一般家庭から排出される廃食用油が化石燃料の使用に代わるこうした分野は検討を続けてほしい。また、こうした活動の積み重ねが市内のエコ意識向上に結び付いていくと考えます。

中澤委員

木質バイオマス活用法について、利用促進の検討はどうなっているのか。現在は、間伐で出た材が山中にたくさんあるはずで、運び出しのための林道整備が森林全体の整備計画につながっていくのではないのでしょうか。

大平委員

今の計画では、大型機器の導入を行い山中に残る材の運び出しを行っています。主な材はカラマツとなっています。

事務局

この取り組みについては、広域で考えていきたいと思っています。現在、佐久地域と上田地域の両広域会議に参加し、この点についても検討を行っています。但し、現時点の試算では間伐材の量が足りず利活用には結びつかないという結論となっています。

佐藤会長

森林樹木の CO2 吸収量は本計画の中でも大きな CO2 削減量の数字となっています。私有林も存在すると思いますので、森林学校や環境教育の開催を計画していただきながら、市民の環境意識を高めていただきたいです。

工藤委員

防犯灯の LED 化について、地元でも LED 化を行いました。これにより電気料金が 32%程度削減することができました。メリットを訴えながら積極的に普及してほしい。

事務局

区所有の防犯灯には各区の長期計画に盛り込んでいただき、補助金という形で普及促進を図っていきます。また、市が管理する集落間の機器についても交換・修繕の機会に LED 化を図っていききたいと考えています。

佐藤会長

環境にやさしく、料金を抑えられるメリットを啓発して行ってほしいです。

新田委員

前回の会議でも意見しましたが、ISO14001 取得企業への補助金について、エコアクション 21 の導入は検討していただけたでしょうか。こうしたものがあることを知らない事業者も多いと思いますので、モニターなどで啓発を図ってほしいと思います。

事務局

この件に関しましては、商工観光課が関係会議などで呼びかけをしています。現在のところ導入意向は聞かれていません。また、ISO の取得については取引企業との関係によるケースがあるそうです。委員の意見のとおり企業への啓発方法を検討したいと思います。

佐藤会長

確かに ISO は国際的な規格ですから、取引企業が指定する場合も考えられます。しかし、エコアクションは低コストと事務が簡素であるので、企業の環境エコ活動の方針として導入していただくことも良いかと思います。

山口委員

高効率エアコンや給湯器、家庭用ガスコージェネレーションシステムなどの普及啓発について実績が上がっていないとのことですが、ガスを取り扱う企業として、後日ご提案をさせていただきたいと思います。

森委員

エコクッキング教室を行っていますが、こうした機会に高性能・高効率の調理機器紹介やエコライフとの結び付けを学んでいただいています。

宮原副会長

現在、環境家計簿やとうみエコライフ DAY などの取り組みを行っていますが、各家庭でエコ診断サービスが受けられます。こうしたサービスを導入して家庭レベルの取り組み促進を図っていったほうがいいかでしょう。このサービスは企業でも受診することもできます。環境にも家計にもやさしいエコライフの取り組みを促進・普及していきたいと思います。

佐藤会長

大変重要なことだと思います。自主的な活動により家中のエネルギーや削減量の“見える化”をすることでエコ意識の向上につなげていく必要があります。

佐藤会長

ノーマイカー通勤やエコドライブ講習会の開催についても、その後の行動・生活が“どう変わったのか？”が重要でアンケートなどを利用してまとめていただくと更に充実した活動になると思います。

荻原委員

ノーマイカー通勤と健康づくり運動を結びつけて、環境にも体にも良いことを PR し、意識の変化を求める取り組みにしていっていかかでしょう。

佐藤会長

グリーンコンシューマー活動について、ゴミ減量のみでなく、購買活動にもつなげてもらいたい。

(2) 東御市地球温暖化対策地域推進計画の進捗状況について

・短期目標（2012 年）の進捗状況について

事務局

平成 23 年度（2011 年度）中間、3 年間の短期計画の中間時点での計画に対する進捗状況です。小ケースについては、計画に対して 124%、中ケースについては 28%、大ケースは 0% となっています。全体で見ますと計画の 42% 達成ということとなっています。

佐藤会長

計画策定の段階から予想していましたとおり、小ケースにつきましては計画が実施されて

いけば達成できる目標となっていました。中ケース、大ケースと困難な計画が含まれておりますので、報告された結果は予定通りということが言えます。ここで、目標達成出来ているものは引き続き実績を伸ばしていただくとして、協議会で検討しなくてはいけないことは、実施できていないもの、達成が困難なものをどのようにしていくかということです。皆様のアイデアを寄せていただき、計画に着手できるよう、また、社会の変化によりまったく新規の取り組みを計画してマイナス分を補うことも必要です。確認しておきたいことは、現在未着手で今後も達成が困難だと分かってきた項目は何でしょう。

事務局

現段階では、バイオガソリンの関係と事業用貨物車へガス車の導入が上がります。また、メガソーラーの導入についても事業展開する事業者の申し入れの有無が不明であります。

佐藤会長

それぞれの項目について、進捗状況が把握できたと思いますので、今後は、数字合わせだけでない計画とするために、意識改革や生活スタイルの変更が伴う取り組みを続け、次代へつないでいく必要があると思います。

・平成 24 年度（2012 年度）以降の計画進行について

事務局

いよいよ短期目標（3 年）の最終年度となります。来年度が終了しましたら、今回と同様に結果を委員の皆さまにお示しをいたします。それをもとに評価をいただき次の目標である 2020 年に向けて取り組みをしていかなければなりません。また、この 7 年間については短期で 3～5 年といった目標の進捗管理を行いながら進めていく方が良いかと思いますので、皆さまのご意見をいただきたいと思います。

佐藤会長

2012 年現在の結果と評価の報告は絶対に必要です。さらに、目標年 2020 年までの取り組み方も重要になってきます。市内全域で市民一人ひとりが「みんなで頑張ろう」という雰囲気作りをしていく必要があります。